

## 第2次対馬市総合計画(後期計画)に対する パブリック・コメントの募集結果

### 1. 目的

パブリック・コメントとは、行政が意志決定をする際の政策等を事前に公表し、その案について広く市民からのご意見や情報を募集するものです。今回、本市における今後5年間の方針や将来像を記した「第2次対馬市総合計画(後期計画)」について、下記のとおり実施しました。

### 2. 募集期間

令和2年12月8日(火)～令和3年1月8日(金)

### 3. 意見応募件数

2件 ご意見は、別紙一覧のとおり。

【第2次対馬市総合計画(後期計画)に対するパブリックコメント】回答

1. スポーツ・芸術・課外活動の大幅な受け入れ改善

- 競技場・体育館などを併設した宿泊施設を利用し、島外からの合宿・修学旅行・体験学習の受け入れ。  
「高校大学の部活動合宿」「芸術創作に環境提供」「山海体験学習・研究の受け入れ」  
例：廃校を合宿所にし、体育館で大学バレエ部の長期合宿を実施してもらう等。

( 回答 ) 後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

このことにつきましては、2-2-1-2 「なりわいづくり」―「地域経済の循環の仕組みを確立する」―「持続可能な観光の推進」―「2 受入体制の整備」中、「島内外の修学旅行や企業研修、スポーツ合宿の誘致」及び、1-3-1-3「ひとづくり」―「大人たちが対馬の魅力を知り誇りを持つ」―「大学と地域との連携推進」―「3 大学・企業等との共同研究及び実践活動の推進」の取組に含まれます。

2. 看護科・農林水産科・スポーツ科などの島内高校への新設

- 島内の高校に看護科を創設し、島の医療を担う人材を確保育成する。
- 島内の高校に農林水産科を創設し、島の産業を担う人材を確保育成する。
- 島内の高校にスポーツ科を創設し、この島から全国的な知名度を上げられる競技に注力し、島民の意識高揚をはかる。

( 回答 ) 後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

このことにつきましては、以前、島内の高校に専門科を設置することを目的として、生徒へのアンケート調査を実施して検討いたしました。希望する専門科が分散し、また、島外から生徒を呼込む見込みがないことからクラス編成が難しい結果となり、専門科を設置することは困難であるという結論に至っております。

このことから、島内の高校の魅力化を図るため1-2-2-1「ひとづくり」―「次世代の担い手の郷土愛を育む」―「郷土を愛する“対馬っ子”の育成」―「1 小中学校・高校の魅力化」中、「3高校の特性に合ったスポーツ指導者の招聘」の取組を進めております。

3. 高齢者の不安な一人暮らしを解消する為、日用品店を併設した、看護師が常駐する集合住宅地域を新設

- 平屋の長屋方式或いは戸建て方式で、住居を提供する(スモールハウス)。費用負担は当然あるが、市に委託した不動産資産の売却などを個人の財源に充てる。
- 敷地内の日用品店で買い物をサポートし、管理棟に看護師資格者を配し急な不調にも対処する。

- 持ち家・土地を市に無償或いは有償で提供することで入居権を得る。その土地建物は市が有効利用を考える。(空き家対策・所有権移転の為の方策が必要)

( 回答 ) 後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

このことにつきましては、3-2-2「つながりづくり」―「持続可能な福祉と医療の体制を整える」―「福祉の充実と地域包括ケアシステムの構築」の取組に含まれます。

#### 4. ガンダム・エヴァンゲリオンなどのカリスマ性の活用

- お台場にある実物大のガンダムには年間数千万人が見物に訪れる。特にアジア圏から、それを目的に来る観光客も多い。万葉橋辺りから見える山影から「山を今にも乗り越えそうな敵役の登場」など、ストーリー性があれば、主役でなくともファンは喜ぶ。若者、日本人観光客の来島が多く見込める。

#### 5. 「聖地」の創設

- 聖地巡礼が流行る昨今、ゴーストオブ対馬の登場地巡礼はもちろん早急にマップ化する必要はあるが、他にも多少こじつけてもマスコミ受けする「聖地」は必要。「この神社を参ると必ず勝負に勝てる精神力を手に入れる」とかのおまじない的なものをひねりつつ。「ここを訪れたカップルが結婚」などは短絡的だが、そんなオーソドックスなものも必要か。

#### 6. 対馬を舞台としたマンガ・アニメ・映画のコラボ依頼

- 広告会社・出版社や制作会社・テレビ局などと契約し、対馬を舞台とした作品を生み出してもらおう。

( 回答 ) 4. ~6. 後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

このことにつきましては、2-2-1-1 「なりわいづくり」―「地域経済の循環の仕組みを確立する」―「持続可能な観光の推進」―「1 対馬の魅力の発信・PR」中、「アニメやゲーム、映画・ドラマ等の媒体・メディアを活かしたPR・情報発信、映像制作等」の取組に含まれます。

#### 7. 施設の充実

- 対馬中にたくさんの施設が点在するが、その全てが帯に短し襷に長し、普段使いには大きすぎ、大会には手狭、という感じ。野球場なら4面・陸上競技なら400m全天候型・テニスコートなら12面・ステージなら5000人収容など、それなりのものに集中投資してほしい。道はきれいになり、移動距離は問題ない。
- 全てが駐車場不足。これは都市計画・初期設計から大きな間違いである。完全自家用車社会の対馬では最も重視し余裕を持つべき。空港・港・大会会場・イベント会場、全て足りない。
- 今後中学校の部活動は各校の人数不足が深刻で、その種類の選別が進む。サッカー11人・野球9

人・バレー6人・バスケット5人、それすらも揃いにくい。いずれ2人・団体戦でも4人で済むソフトテニスを軸に再編されていくと思う。8面以上の規模のコート施設は必ず必要になる。(中対馬病院跡地は?)

( 回答 ) 後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

このことにつきましては、施設の整備・充実を目的とする取組は含まれておりません。しかしながら、施策を推進するうえで、施設の整備・充実の必要性について検討いたします。

#### 8. 施設の手入れ

- 施設の美化、特に植物の管理が悪く、手入れしないなら最初から植え込みなど作らない方が良い。
- 観光にも通ずるが、国道県道市道沿いの樹木が生い茂り、景観を大きく損ねる。道路にはみ出す枝の撤去、眺望が望める道路沿いの遮る枝の撤去は大切。

( 回答 ) 後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

このことにつきましては、既存施設の管理となる取組は含まれておりませんので、適切な管理について検討いたします。

#### 9. 校外での学力の向上支援・音楽・美術・制作等の文化活動支援

- 中学校でいまだ「全員部活動参加」が条件のところがある。これは当然教師の負担を大きくすると昨今問題になっている。当然子供や親にも放課後は学校以外の選択肢があって良い。ただ学習塾も文化・芸術活動も民間では成り立たないのか少ない。勉強したい・文化芸術活動をしたい子供の為の支援体制が必要。

( 回答 ) 後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

このことにつきましては、1-2-2-2「ひとづくり」―「次世代の担い手の郷土愛を育む」―「郷土を愛する“対馬っ子”の育成」―「2 保護者・行政・地域が一体となった教育による郷土愛の育成」の取組に含まれます。

(スポーツにまい進する環境整備)

10. 車で自宅から大会に参加する本土勢と比べ、離島は渡海・移動・宿泊と大きなハンデがある。そのハンデを克服するために多くのスポーツをする若者が対馬を離れる。家族ぐるみで本土での生活を選ぶ。「スポーツで頑張れない島:対馬」それが人口減少の一端である。島外大会へ遠征する際の補助

が現在実施されているが、回数が制限される。回数をこなさなければ強くない。飛行機や船の毎回の割引、島外ホテルやレンタカーとの提携による割引など、施策は考えられないか。

( 回答 ) 後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

このことにつきましては、1-2-2-3「ひとづくり」―「次世代の担い手の郷土愛を育む」―「郷土を愛する“対馬っ子”の育成」―「3 経済的負担の軽減、及び特別支援教育の推進」中、子ども夢づくり基金事業による支援継続の取組に含まれます。

11. 公的施設の年末年始の利用開放を。

( 回答 ) 後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

このことにつきましては、各施設の年末年始の利用開放の必要性について検討いたします。

12. 雨天対応屋外競技練習施設の新設。屋根付きの走路・屋根付きのテニスコート・屋根付きの多目的運動場が必要。

13. 一周 1km以上のクロスカントリー・ジョギングコース・散歩コース・サイクリングコースの新設。

( 回答 ) 12. ~13. 後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

このことにつきましては、施設の新設を目的とする取組は含まれておりません。しかしながら、施策を推進するうえで、施設の新設が必要となる場合は検討いたします。

14. ・島外から移入するしかないモノ、サービスの内製化支援を検討してはどうか。例えば牛乳。現在は島外から移入しているが、島内で生産できるように募集、支援すれば地産地消が強化される(とりわけ、消費頻度の高いもの内製化を推進すべき)。

( 回答 ) 後期計画に取組を追加します。

このことにつきましては、2-2-2-1「なりわいづくり」―「地域経済の循環の仕組みを確立する」―「持続可能な流通体制の構築」―「1. 対馬産品の島内生産および消費の推進」の施策の中で検討いたします。

- ・ 島外から移入している品目を島内生産するための設備投資に対する支援の検討(例えば 卵、鶏肉 等)

15. ・島内、島外の両方から調達可能なモノ、サービスは島内優遇できないか。公共調達の島内調達率を目標として設定することは可能か。例えば、電気自動車の調達ならば島内外で差別化はできないが、チャージステーションの設置工事なら島内事業者へ優先的に発注が可能となるようなルールを策定する。サービス業務ならば『従業員の島内在住』を必須要件とするなど。『公平性の担保』は絶対に必要だが、完全な自由競争にすれば島内産業が衰退することは目に見えているし、「1円でも安く調達すること」が島にとって最良ではないと思う。

( 回答 )後期計画に取組の修正・追加は行いません。

( 理由 )

対馬市の入札契約事務における業者選定の考え方は、地域要件として、市内業者で購入できるもの、履行可能なものはできるだけ市内業者を選定し、困難な場合は、準市内→県内→県外の順に指名業者の範囲を広げていくこととしている。